

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成30年度)

【様式1】

施設名	一ツ瀬川県民スポーツレクリエーション施設
指定管理者	一般財団法人一ツ瀬川県民スポーツセンター
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
県所管部課	企業局総務課

1 施設利用状況

指標	H30	H29	H28	増減理由等
利用者数(人)	27,002	29,840	30,464	平成30年度については、3度の冠水被害に見舞われ、17日間のオールクローズ日が発生したことなどにより、利用者数は27,002人ととどまり、前年度を約2,800人程度下回った。
コメント	平成30年度については、目標利用者数である33,500人を達成できなかった。利用者数減少の要因は上記増減理由等のおりであるが、今後は新たな指定管理者との連携を図りながら、ゴルファーの底辺拡大やゴルフ場の利用促進に取り組んでいきたい。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	H30	H29	H28	支出	H30	H29	H28
利用料収入	60,562	67,476	69,084	人件費	34,738	41,560	38,810
貸出、物品販売収入	13,713	15,226	14,879	納付金	15,381	21,600	21,600
レストラン売上収入	17,002	18,876	19,260	コース管理費	11,345	12,728	14,877
雑収入	6,225	91	1,653	光熱水費・燃料費	5,131	5,142	4,802
				その他	31,639	25,718	26,144
合計(①)	97,502	101,669	104,876	合計(②)	98,234	106,748	106,233
収支差額(①-②)	-732	-5,079	-1,357				
コメント	30年度については、計3度の冠水により営業休止を余儀なくされたことなどから、利用者数は27,002人ととどまり、前年度を約2,800人下回った。その結果、30年度については73万円余の収支差額赤字が発生した。						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成30年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	サービスセンター及び周辺の日常清掃
	保守・点検	消防設備(年2回)、浄化槽(月1回点検、年1回清掃)、電気施設(月1回)
	警備	夜間常時機械警備
	修繕	施設、設備の維持・保全に伴う修繕を実施
	備品等管理	適宜日常点検を実施。また、企業局立会いのもとに、備品管理台帳に基づき定期点検を実施
	安全対策	消防計画、地震・津波防災計画の策定。雷探知機の設置、雷対応マニュアルの策定(随時更新)
	その他	年4回環境保全管理協議会を開催
企画運営業務	サービス提供体制整備	施設利用促進協議会の運営、各種割引料金の設定(土曜日の食事付き割引、30歳以下の日曜・祝日割引等)、ポイントカードサービスの実施、幹事おまかせセンターの運営、クレジットカードによる支払サービス等
	イベント等	14種類の多彩なコンペを実施
	ソフト面充実	主催コンペ延べ開催回数:167回、年間参加者累計:12,574人(利用者全体の46.6%)
	施設設備等ハード面充実	
その他		
管理運営体制	支配人、フロント3、コース管理6(嘱託1を含む)、レストラン7(パート6を含む)	
コメント	維持管理業務、企画運営業務ともに協定書等に基づいた管理運営がなされている。また、管理運営体制については、各部門ともに適切な人員が配置され、効率的に業務を推進している。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	調査結果、主な苦情・要望内容		その対応結果等
ロビーに調査用紙を備え置き、利用者が任意に記入する方式で実施(調査期間H31.2~H31.3)。回答件数133件	冠水被害の影響からか、ゴルフコースの状態がなかなか回復しないのが残念。		企業局から新たな指定管理者に対して、芝の手入れ等、コース管理を充実させるよう依頼し、改善が見られた。
	レストランについて、料金が低い。		新たな指定管理者において、レストランに関する費用を圧縮するため、金券の販売方法を変更(窓口を一本化)し、今後の改善につなげた。

5 総合評価

評価コメント	県民の健康づくり促進やゴルファーの底辺拡大のため、高齢者やジュニア向けの利用料金割引を引き続き実施するなど、施設の設置目的に沿った適切な管理運営を行っている。各種コンペの実施などの利用促進対策に取り組んだものの、3度の冠水被害や近隣ゴルフ場との利用者獲得競争の激化の影響などにより、平成30年度については、29年度に引き続き収支差額赤字が発生した。
今後の課題と対応	新たな指定管理者(株)モリタゴルフは、民間企業の経営ノウハウを活用した積極的な営業を展開しているが、企業局としても指定管理者との連携を図りながら、新規利用者の開拓や主催コンペ開催などの利用促進策を講じていくとともに、コースの適正な維持管理に努めていく必要がある。